

参加者の声

■横田恵子会長

「マスクは市場にも出回ってきていますが、子ども向けのマスクはあまりないと感じます。夏に向けて暑くなりますが、この機会にマスクをつけることを習慣づけてもらいたいです」

■川又五百子さん

「子どもたちが、マスクがないのを気にしないで元気に登校してくれることを願ってマスクを作っています」

■坂田礼子さん

「マスク作りは皆さん行っているが、これから新型コロナ流行の第2波、第3波の恐怖もあるので、少しでも子どもたちを守ればと思っています」

■氏家富士子さん

「マスクを作るのは、思っていたより時間がかかって大変ですが、女性百人会としてお役に立てればと思っています」

子どもたちのために 手づくりマスク555枚を作成

金ヶ崎町女性百人会による手づくりマスクの作成が、5月、中央生涯教育センターで行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で、全国的にマスクが不足している状況のなか、「自分たちでできることをやろう」と、「マスク作成大作戦」を開始。子ども向けのマスク

500枚を作成することを目標に、5月20日～6月8日の計5回集まり、手づくりマスクを作成しました。紐とマスク作りは、紐と糸だけ百人会で用意し、マスクの生地は全て会員の持ち寄りで作成しました。会員のなかには、みんなが集まって作業する時間のほかに、自宅で空

てる時間を活用し、寝る間を惜しんで作業している人もいるとのことでした。マスクは、子どもたちに使ってもらうために3種類（大・中・小）のサイズを作成しました。また、夏に向けて、生地を重ねる枚数を少なくする工夫もしています。作成したマスクは6月9日、町内に寄贈され、今後、町内の小学校で活用されます。



金ヶ崎町女性百人会

手づくりマスク作成

マスク着用による

熱中症に注意

新型コロナウイルス対策のための「新しい生活様式」として、感染防止のための基本である「マスクの着用」が求められています。これから夏を迎えるにあたり、次のことに注意しましょう。

- (1) マスクの着用について**
マスクは飛沫の拡散予防に有効ですが、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなる恐れがあります。
①屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できない場合にはマスクをはずすようにします。
②マスク着用時の負担がかかる作業や運動は避ける。
③のどが渴いていない。
- (2) エアコンの使用について**
熱中症予防のためにエアコンが有効ですが、新型コロナウイルス対策のため、エアコンの温度設定を調整したうえで、適度に換気も行いましょう。
- (3) 涼しい場所への移動について**
少しでも体調に異変を感じたら速やかに涼しい場所へ移動しましょう。
- (4) 日頃の健康管理について**
定時の体温測定、健康チェックを行い、健康管理を充実させましょう。

